

みずいろ通信

Vol. 11

2021年
12月発行



長かった緊急事態宣言が解除され、ようやくコロナ収束の兆しを感じられるようになりました。私たち4Sの里親支援活動も自粛期間を終え、本格的再始動が始まりました。これまでできなかった広報活動や、制度を知ってもらう講演などを精力的に進めていきたいと思っています。コロナ禍、まだまだ気を抜くことはできませんが、一步ずつ前に進んでいければいいと思います。

10月に鶴見区女性会の皆さんに15分ほどの短い時間でしたが里親制度についてお話させていただく機会をいただきました。鶴見区にある施設(乳児院)の紹介や里親の種類など簡単にではありましたがお話をさせていただきました。みなさん真剣にお話を聞いてくださいました。里親制度普及活動として、今回のように里親についておはなしが出来る機会があれば、お呼びいただきたいことやポスターやチラシを置いてもらえる場所があれば教えてほしいことなどをお願いさせていただきました。

11月29日、鶴見区女性会の学習会として里親支援専門相談員(4S)が映像を交えながら「親と暮らせない子どものおはなし」をさせていただきました。

鶴見区でファミリーホームをされている里親さんにお越しいたき、体験談を語っていただきました。皆さん興味深く聞いてくださいました。今後も一人でも多くの方に里親制度について知ってもらい、里親への理解を深めてもらいたいと願っております。



天王寺区子ども会育成連合協議会 スキルアップ研修

令和3年7月25日 場所 天王寺区民センター
参加者 20名

普段、地域で子ども会活動をされている、育成者、指導者の方々に1時間程度の里親制度の説明や、○×クイズをして、里親制度を知ってもらい、地域で一緒に子育てをして行く事の大切さを話しました。

参加された方々は、「大阪市の里親を必要としている子どもたちの為の活動、制度や様々な環境のなかで過ごす子どもたちの現況など普段知ることのできない内容に触れる事ができ、少しでも広く周知のお手伝いができれば」と感想を話されていました。地域での新しい子育ての手応えを感じました。

里親登録前施設実習

「赤ちゃんに触れ合いたい！」

乳児院に里親登録前実習に来られる方は特別養子縁組を希望されている方がほとんどです。その中で、赤ちゃん(新生児～1歳未満)と触れ合いたいという強い希望がある方が多いです。「今日は赤ちゃんに出会えるのを楽しみにきました」と言われる方もいます。いつもは赤ちゃんクラスに実際に入室してもらって、赤ちゃんを抱っこしたり、授乳をしたりしてもらうのですが、この日は学生の実習でいっぱいだったので、入れませんでした。そこで、ちょうど親子訓練室が空いていたので、そこへ赤ちゃんを一人ずつ連れていき、実習をして頂きました。まずは1か月の赤ちゃんを連れていきました。ご夫婦は、赤ちゃんを恐る恐る抱き、「まだ顔が赤い」や「ふにゃふにゃで怖い」など感想を述べられていました。その次に4か月の赤ちゃんを連れていくと、「こんなに体がしっかりするんですね」や「こんなに反応があるんですね」など、すごく驚いておられました。実際に赤ちゃんを抱っこして月齢の違いを実感して頂けて、とてもよい体験になり良かったです。今後も、より、子ども達のことを理解して頂くためにも、できるだけたくさんのお子さん達と触れ合う機会を提供していきたいと思いました。

今年で5回目のセミナー

「地域で支え合おう 家庭で暮らせない子どもの今を理解する～さとおやっとなあに～」が10月24日クレオ大阪中央で開催されました。4Sは講師として参画し、今年で5回目になります。コロナ禍であり、参加者がおられるのか心配されましたが、15名の申し込みがあり当日は8名の方が参加してくださいました。

今回は「養育里親になるまでストーリー」「さとおやなりきり体験談」の2本立てで行いました。「なるまでストーリー」はある夫婦が里親制度に興味を持ち、里親になる不安な気持ちから、「子どものための制度」だと知り、自分たちでもできる(しなくてはならない)と気持ちが変わり研修、実習に進んでいく流れを4Sが夫婦役になりきり進めていくといった内容でした。

体験談は、日ごろ私たち4Sが里親さんからお聞きするようなことを盛りだくさんに詰め込んだインタビューで、それも4Sがさとおやさん役となり話を進めていく形でした。

毎回参加される方の意識が高いセミナーでもあり里親の紆余曲折をお伝えできればと意識しこれまでの『子ども目線』ではなく、大人側の想いに触れたいと企画しました。

終わってからのアンケートには「非常にわかりやすかった」「内容に共感できた」などうれしいお言葉、また、「もっと聞きたい」とのご希望もいただき、次回、次々回へ繋げていければと感じました。



コロナ禍を乗り切った里親さん

未曾有のパンデミックで世界中が混乱の中、里親家庭で暮らす子どもの生活をしっかり守ってくださった里親さんのお宅への家庭訪問支援が再開しました。

半年近くお会いできなかった方もおられ、この間どうでしたかとお聞きすると「何とかやってます」と。。

一般家庭においても子育てが大変なこの時期、実親と暮らせない子どもの社会的養育を担っていただいている里親さんの気苦労は計り知れません。

私たち4Sが訪問させていただき、出来ることは「お話を聴く」に尽きます。

出来ることはほんとうに些細なことではありますが、里親さんの日頃の愚痴や嬉しかったことを共有し、本当に疲れた時や、助けが欲しいときに顔を思い出してもらえる存在になりたいと思っています。

コロナ収束後、社会がどう動いていくかは誰にもわかりませんが、これからも里親養育を続けていただく里親さんに必要な支援者を目指し努めていきたいと思ひます。

♪今後のイベント情報♪

- ・令和4年2月12日(土)
「地域で支え合おう」～明日の社会を創る子どもたちのために～
主催：東住吉区社会福祉協議会 東住吉子ども・子育てプラザ
於：さわやかセンター 3階会議室
- ・令和4年2月26日(土)
「さとおやっとなあに」 里親登録までの道のり&里親養育体験談
主催：里親支援機関 mikata
於：クレオ大阪南

さとちゃんバッグとボールペン

活動を応援してくださっている方々に作っていただきました!



～編集後記～

コロナ禍、制約の多い生活を送ってきましたが
マスク着用は「新しい生活様式」にすっかりとはまった感があります。無いととっても不安になったりします。
コロナ前の生活が懐かしく待ち遠しいのですが、終息してマスクを外した素顔を見るのも見せるのも、恥ずかしい気がしませんか?(ノωノ)
マスクの下でも笑っていただける新年でありますように。

吉迫・宮澤・井上・黒田

●お問い合わせ先●

一般社団法人大阪市児童福祉施設連盟
里親支援委員会
(事務局：聖家族の家 06-6699-7221)

